

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【60】

2. 日時：令和4年1月20日 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他9名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁中ですそれでは嶋委員に設工認のヒアリング開始したいと思いますので説明をよろしくお願いします。
0:00:16	はい。中国電力久慈です。それでは説明の方を始めさせていただきます。
0:00:20	それではまず資料確認をさせていただきます。
0:00:24	NS2－他－026。
0:00:27	と、二つ目、NS2－添 1－048。
0:00:32	三つ目、NS2－添 1－048 の括弧費。
0:00:37	四つめが、NS2－補－008 回 0 日となりまして計四つの資料をすべて 1 月 1 日提出となっておりますが、すべておそろいでしょうか。
0:00:49	規制庁中間です。はい。大丈夫ですよろしくお願いします。
0:00:54	はい。では、ともに比較表により、先行電力との相違箇所について説明させていただき、必要に応じて補足説明資料を説明させていただこうかと思います。
0:01:04	なお、定補正時からの変更箇所何点かありまして、
0:01:08	適正化リストの方を提出しておりますが、
0:01:10	その具体的な変更箇所については比較表の中でご説明させていただこうと思いますのでよろしく願いいたします。
0:01:16	では比較表のNS2－添 1－04 企画費をご確認願います。
0:01:24	まず 1 ページ目、こちら、層位理由の類型化の表を記載しております。
0:01:30	具体的な内容につきましては、本文中でご説明させていただこうと思いますが、
0:01:34	類型化した相違理由が、再掲されている場合や、また相違理由が自明なものについては、ちょっと説明を割愛させていただこうと思いますので、
0:01:42	ご承知おき願います。
0:01:45	では、2 ページ目をご確認願います。
0:01:48	こちら、MOODYとなります。
0:01:51	先行電力との相違箇所がございますが、具体的な説明については、本文中でさせていただこうと思います。
0:01:58	3 ページをお願いします。
0:02:02	こちら、概要ということになりますが、先行電力との技術的な相違はございません。
0:02:09	次、4 ページをお願いします。
0:02:13	こちら基本方針になりますが、
0:02:15	姫野 2 号の記載上から 3 行目 4 行目に、実践を聞いております。
0:02:21	こちら、東海第 2 との相違なんです、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	原子炉冷却材漏えい監視装置に使用する形増設の遠い。
0:02:28	であり、また豊島に2号機は、ドライウェル床ドレンサンプへの漏えい水量、
0:02:38	今日松井式推計にて水位を計測し、その変化率にてを計算して漏洩量継続して しておりますので、
0:02:46	その継続方法の総意として、それぞれ、
0:02:49	①②とトイレを類型化しております。
0:02:53	次、柏崎の。
0:02:55	記載になるんですが、
0:02:57	第2パラグラフ。
0:02:58	下から2行目、してきましたから産業、実践を聞いております。
0:03:04	こちら、漏えい水。
0:03:06	領域を特定できない原子炉格納容器台地の漏えいを検知緩和設備の相違と なっております。
0:03:13	続きまして、島根2号機の第3パラグラフの1度目に実践しております。
0:03:19	こちら、柏崎との相違でありまして、
0:03:23	設計変更を行わない設備の相違となっております。
0:03:28	またこの2ページになるんですが、
0:03:30	吉森2号機の、
0:03:31	記載の一番下から6行目のトレイン会館に、
0:03:35	流入した以降ちょっと実践を聞いております。
0:03:38	こちらは、東海第2とそいでありまして、田島2号機においては、漏えい。
0:03:43	のうち、蒸気分はドライウェル冷却装置凝縮水流量測定装置にて、
0:03:49	技術的設計としていることによる相違でございます。
0:03:53	5ページ目をお願いします。
0:04:00	こちら、甲斐田委員の記載の第4パラグラフ。
0:04:04	全体を一線を引いております。
0:04:07	こちらは、
0:04:08	ドライ島根とD/W。
0:04:10	床ドレンサンプへの漏えい水量、直径と高はこたえるため、
0:04:14	島根2号機においては、東海第2が記載されているような、
0:04:18	漏えい水の権利化に対する設計及び、
0:04:22	運用上の考慮。
0:04:23	事項は、不要ニコツようになったため、
0:04:27	記載しておりません。そのため、設備及び運用の相違としております。
0:04:32	続きまして、6ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	まず、補正書からの変更箇所。
0:04:40	になりますが、
0:04:41	図 2-1、漏えい管理措置の概略図について、
0:04:45	こちらへ、
0:04:48	変更前については、
0:04:50	こちらどの計器がドライウェル床ドレンサンプ水測定装置を示したかちょっとわかりにくかったため、
0:04:56	こちらの記載を修正して、
0:04:59	適正化を行っております。
0:05:02	次、7 ページをお願いします。
0:05:07	島根の記載の中ほどになりますが、3.1 ドライウェル冷却装置凝縮水流量測定装置について記載しております。
0:05:16	先ほどご説明した通り、あと甲斐、
0:05:19	丹伊藤になるんですが下に広げ薬剤漏えい監視装置に使用する継続装備。
0:05:25	設備の相違に伴いまして、東海第 2 は該当する記載がございません。
0:05:31	また、同じページになりますが、
0:05:34	島根 2 号機の記載の下から 6 行目。
0:05:37	2000 引いておりますが、こちら柏崎 7 号との相違でありまして、
0:05:41	つまり 2 号機は、流用信号の変換処理。
0:05:44	をどこにしてるかというのを明確化するために記載しております。
0:05:49	引き続きまして 8 ページをお願いします。
0:05:54	まず、補正書からの変更箇所についてご説明いたします。
0:05:59	3、中ほど 3 点に、
0:06:01	上から 3 行目になるんですが、さらにの下がったところに、
0:06:05	稟議てるんですけど、こちら、変更前は、こちら野原が管理になっておりましたが、
0:06:11	この場合はひらがなで記載されて既設のため、修正しております。
0:06:17	また、先行電力除い移りますが、
0:06:21	島根 2 号機の、
0:06:23	一番下の記載の、
0:06:25	下から 4 行目の記載で時 6 分というところに、実践を聞いております。
0:06:32	こちらはどうしん柏崎 7 号との相違でありまして、流量信号の変化処理部の相違でございます。
0:06:42	続きまして、
0:06:44	1 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:49	こちら、真ん中に、中ほどに、図 3-3 漏えい検査時間。
0:06:54	ということで、研修時間の評価にあつての、各時間断面のフロー図を示しております。
0:07:02	こちら、東海第 2 と相違なんです、
0:07:05	島根 2 号機においては、漏えい分のうち、上記分と液体分を受けて、それぞれの研修時間を、
0:07:12	評価する。
0:07:13	Bにしておりますので、東海第 2 とはちょっと変わった。
0:07:16	異なり図となっております。
0:07:20	続きまして同じページの 3.3. 2 漏えい水が蒸気になる割合について記載しておりますが、
0:07:25	こちら、先行電力との相違や特段ございません。
0:07:31	12 ページをお願いします。
0:07:35	表の 3-3 ということで、検出時間の算出にあつての、記号の定義をした表 2 となっております。
0:07:43	こちら柏崎 7 号との相違がありまして、
0:07:46	具体的に言いますと、表の中、
0:07:49	なるんですが、
0:07:50	島根 2 号機では、ドレン配管流れ漏えい水の平均流速というのを、宇井さん。
0:07:56	真ん中、中ほどちょっと若干したんですが、出てきておりますが、柏崎なんかは、ちょっと異なる定義をしておりますので、厳守時間の計算過程の相違としております。
0:08:07	詳細について、ちょっと補足説明資料にてご説明しますので、
0:08:11	お手数ですが、登録説明資料、
0:08:14	NS2 歩 008 階 02。
0:08:17	ご確認願います。
0:08:24	こちら、足説明資料 7 ページ。
0:08:27	3.3 の記載になります。
0:08:32	こちら、図の 3-2 で示しています通り、
0:08:36	島根 2 号機におきましては、ドライウェル冷却系冷却、
0:08:40	が上部、3 大かぶ三田の計 6 台ありまして、
0:08:44	それぞれの冷却で冗費された凝縮水が配管それぞれの配管を流れて、ある時点で合流する設計と。
0:08:51	島根 2 号機の兵庫県時間の評価に当たりましては、
0:08:56	冷却器からドライウェル冷却装置凝縮水流量測定装置までを 1 本の配管。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:01	を想定しまして、でも配管が一番なるところを想定した上で、
0:09:05	図で言いますと、
0:09:07	上部、冷却機能(工)。
0:09:09	ってのがあるんですが、
0:09:11	そちらからの配管が一番長くなってそちらを想定しておりますが、
0:09:15	この評価上、その配管長を1件2倍し、
0:09:19	また、配管には鉛直部と水平部がそれぞれあるんですが、鉛直動水平部と同じ勾配100分の1、
0:09:27	を想定、仮定して、
0:09:29	実施設計に対して余裕を見て、
0:09:32	ドレン配管の取り増、
0:09:34	時間を評価を行っております。
0:09:38	比較表に戻りますので、お手数ですが、
0:09:41	比較表の13ページをお願いします。
0:09:52	表の3-4になります。引き続き出勤表になるんですが、
0:09:57	東海第2と相違箇所がございます。具体的には、島根2号機の記載でいうとT3DO及び9ってというのが、それぞれ定義してるんですが、
0:10:07	こちら、10日間にとっていや異なっております。
0:10:10	これを原子炉冷却材漏えい監視装置に使用する継続装置。
0:10:15	異なり、
0:10:16	駄目。
0:10:17	それぞれの、
0:10:18	現地時間の評価、評価点の境界が異なる。
0:10:22	いうものでございます。
0:10:28	続きまして、14ページをお願いします。
0:10:32	まずちょっと補正書からの変更がちょっとありますが、
0:10:35	表の3-5。
0:10:36	一番下になる時8分なんですが、
0:10:39	こちら、変更前は湯川島海木口をしていたんですが、
0:10:43	ドレン配管入口が適正なため、修正を行っております。
0:10:49	また、先行電力の方に移ります。
0:10:52	表3号について、東海第二と柏崎と7号との相違がございます。
0:10:57	具体的には、島根の記載ですが表3-5の、
0:11:01	北から13行目以降なんですが、具体的に言いますと、
0:11:06	Bとして、越流幅hとして、越流水深水深等、先行電力、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	要は内規を定義しております。
0:11:16	こちらにつきましては、
0:11:18	ドライウェル床面形状が先行電力と異なり、
0:11:22	島根 2 号機においては、勾配がないつけ。
0:11:24	なっていることに伴う評価保護に、
0:11:27	そいでございます。
0:11:28	詳細については別途ご説明いたします。
0:11:34	また、同じ半ページにあるんですが、
0:11:36	下半分、東海第 2 の記載ですが、東海第 2、別に、
0:11:41	勉強あるんですか。
0:11:43	島根 2 号機においてはちょっと該当する記載がございます。
0:11:47	これは、ドライウェル床ドレンサンプへの漏えい水流量の、
0:11:51	計測方法の相違によりまして違いがありますので、
0:11:54	島根 2 号機では、
0:11:55	漏えい水が、
0:11:57	ドライウェル以下ドレンサンプに流入した後の、それ以降のトレーニング移送 時間等々は、
0:12:02	漏えいの検知時間に影響しないため、該当する。
0:12:06	記号定義を行っていないことによる相違でございます
0:12:12	では、15 ページをお願いします。
0:12:17	以降、具体的な変質時間の算出の考え方になります。
0:12:22	上記分の 1、上記分のうち、上記到達時間や、凝縮水流量の閉合到達時間、 再開総時間についての考え方や計算方法については、
0:12:32	基本的に先行電力との相違がござい
0:12:36	具体的な相違がちょっと、各項目でご説明いたし
0:12:40	ます。(1)としてドライウェル冷却装置凝縮水流量測定装置の検出時間。
0:12:46	についてですが、こちら東海第 2 とは、原子炉冷却材の漏えい監視、
0:12:51	使用する継続装置の層位の関係で、該当の記載箇所があるということで、
0:12:56	ちょっと同じく左の方に記載がないんですが、
0:13:00	まず該当する箇所としては、この表各所の 18 ページから 21 ページ。
0:13:05	東海第 2、
0:13:07	該当する記載がありますので、
0:13:09	こちら、比較結果としては、
0:13:11	こちらの東海第 2 の(1)aぽつからCぽつの方との比較を行っております。
0:13:16	ただ実質的な相違はございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:21	16 ページをお願いします。
0:13:26	一つ目のそういたしまして、
0:13:28	嶋新居大城の第 1 パラグラフの下から 2 行目。
0:13:32	の記載、数十%という記載に、実践を聞いております。
0:13:36	こちらの階段にとの相違でありまして、評価上の設計の取り方、あと並行到達時間の考え方の相違であります。
0:13:44	評価自体の仕方自体は同様となって、
0:13:49	猪野と弓削元雄様となっております。
0:13:54	また、同じページ、第 2 パラグラフの 3 行目。
0:13:58	姫野齋木他いい点を聞いておりますが、
0:14:02	こちら東海第 2 及び柏崎 7 号との相違となっております、
0:14:06	島根 2 号機は評価条件。
0:14:09	この場合 90%なのですが、
0:14:11	永続誤差を考慮した、警報設定をしていると。
0:14:14	いうことにある通りでございます。
0:14:22	家入。飛ばして 18 ページをお願いします。
0:14:30	豊島 2 号機の記載で、(2)。
0:14:34	上記分の内、ドライウェル床ドレンサンプの水位測定装置までの検出時間。
0:14:39	評価を行って、
0:14:41	こちら、配管からドライウェル冷却装置凝縮水流量計装置までの時間。
0:14:46	につきましては、
0:14:47	先ほどの(1)と同様となるので、その旨を記載。
0:14:54	東海第 2 塗装につきましては、比較表の 15 から 17 ページ。
0:14:59	と同様となります。
0:15:04	ピーディー飛びまして、
0:15:06	22 ページをお願いいたします。
0:15:17	こちら、一番上の記載になるんですが、ポツドライウェル床ドレンサンプ水位変化率の品質 1 課面談時と、
0:15:24	沖さんになるんですが、
0:15:25	第 2 パラグラフの 2 行目に実践を聞いており、
0:15:28	こちら、柏崎 7 号との相違でありまして、
0:15:32	水位変化率の計算法の損益取っております。
0:15:37	同じページで(3)で液体分の漏えい検知時間の評価を記載しております。
0:15:43	で、ポツは、ホンザイから流れ出るまでの時間ということで、問題ないの。
0:15:48	滞留時間の説明となって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:52	23 ページをお願いします。
0:15:58	こちら、島根 2 号の記載で、AとB括弧B一般本来、
0:16:02	というのがあるんですが、
0:16:03	こちら実績ありますが、こちら東海第 2 の設備の損益は、
0:16:08	同じ括弧Bの中の記載になりますが、
0:16:12	柏崎の記載のところで、実線が 2 ヶ所。
0:16:15	文章中と、数式のところに実線を聞いております。
0:16:19	こちらは、日までに大木と柏崎 7 号における評価方法となっております。
0:16:27	同じページの、
0:16:29	一番下のパラグラフ、bポツ、プレーン配下入口までの到達以下。
0:16:33	括弧本題からドレン配管というところになるんですが、
0:16:37	こちら、
0:16:40	3 行目以降から、次の 24 ページまで、一線を引いております。
0:16:46	これは、先ほど 14 ページの記号の定義の際でもちょっと説明したんですが、
0:16:52	東海第 2 及び加瀬安城柏崎 7 号との相違でありまして、
0:16:56	ドライウェル床面の形状の相違に伴う評価方法の相違となっており、
0:17:01	具体的には、柏島根 2 号機のドライウェル床面については勾配がない設計となっておりますので、
0:17:07	先ほどの、
0:17:09	配管総時間の評価等で用いております。
0:17:13	C型の講師及び菅下達観生田の経験者は使用できます。
0:17:18	いうことになっておりますので、
0:17:20	そのため、
0:17:21	設置許可の申請審査等において、
0:17:25	溢水評価でも用いております。
0:17:28	ビンダーおどしを採用して、
0:17:31	ドライウェル床面上の水漏れい水の水頭プレイ配管への流出を算出しており、
0:17:37	具体的には、
0:17:39	24 ページの、
0:17:40	3.2 式と 3.3 式が、
0:17:43	小尾奈良の仕組みを回答いたし
0:17:46	評価方法の詳細について、色設置料で説明いたしますので、お手数ですが、
0:17:51	補足説明資料の 18 ページ、19 ページをお願いいたします。
0:18:18	失礼いたしました。ページ番号を申し上げます。
0:18:20	補足説明書の 15 ページと 16 ページがいたします。失礼いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:25	こちら、7.2 個。
0:18:28	のD/W配管入口値到達時間。
0:18:30	ものが該当するんですが、
0:18:33	こちら、
0:18:35	考え方としましては本剤から、漏えい水のドライウェル床面に落下して、床面に水位を形成しつつ、床面に、
0:18:44	設置されたドレン配管に流入いたします
0:18:52	本評価における漏えい性の落下域は、
0:18:55	受図の 16 ページ。
0:18:57	の図等 3、
0:19:00	に示します通り、
0:19:02	原子炉格納容器内において、ドレン配管入口から最も、
0:19:06	鶏が離れてる場所を想定。
0:19:08	しております
0:19:10	その 1 からドレン配管入口の間で流れる。
0:19:13	ことを評価すること、及び、
0:19:15	増井余計セール範囲を、落下点からドレン配管入口までの案 1 ページを見込んで、保守的な、
0:19:23	評価をしております。
0:19:25	この際に、富田小野式を適用してるんですが、
0:19:29	先ほどの 15 ページに、小尾奈良の式と、その図、考え方を示しており、
0:19:36	こちら、飛永尾野式におきましては、高さW。
0:19:41	幅 6 で奥井Dメートルの化石を、
0:19:44	水、水、水が聞こえること単位の水曜日、溢水量を段取りとなって、
0:19:52	この式を用いまして、今回、関野高 0 なるゼロメートルなんですが、
0:19:56	Bの。
0:19:58	いつ利幅を図 7-3。
0:20:01	で示す。
0:20:02	6236 名。
0:20:07	今日はファイルを、が一番長くなります。
0:20:10	こちらの図 7-3 における外側の円の、
0:20:14	エンシュウの四分の 1。
0:20:16	を想定して、
0:20:21	グリーン配管入口までの例の移送時間の評価を行っております。
0:20:28	それを評価、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:31	また比較表に本取り願い、
0:20:38	目標の 23 ページ。
0:20:41	あ、失礼しました。比較表 25 ページをお願いいたします。
0:20:49	こちら、東海第 2、北井。
0:20:52	になるDぽつぽつの記載があるんですが、こちらにつきましては、
0:20:57	ドライウェル床面ドレンサンプへの水流の、
0:21:00	ちょっとこの、
0:21:01	置いてありますので、
0:21:03	島根 2 号機においては、同様な評価を、
0:21:05	不要なため、
0:21:06	記載をしておりません。
0:21:11	次まして、26 ページをお願いいたします。
0:21:14	こちら、3.3. 5 として検出時間、まとめといった評価を行っております。
0:21:20	で、3.3. 1 及び 3.3. 2 項を踏まえて実際に計算した、ページ下の評価結果を示しております。
0:21:27	こちら、上から 6 行目及び下から 2 行目の、
0:21:31	上記分及び液体分の検出時間について、それぞれ線を引いておりました。
0:21:37	こちらは東海第二と柏安楽大戸の相違でありまして、
0:21:41	設備構成の相違によって時間、遅いとなっておりますが、
0:21:44	漏えい分のうち、上記分及び液体分ともに、
0:21:47	1 時間以内にTPMの方へ提出可能であることを示しております。
0:21:53	以降同様の検出時間の評価結果の所については、ちょっとご説明を割愛させ
0:21:58	よろしく願い
0:22:01	続きまして、27 ページをお願いいたします
0:22:06	こちら、図 3-8 についてですが、こちらは先ほど、
0:22:10	10 ページに記載しました、図 3-3 の漏えい検知時間のフロー図だったんですが、そちらに技術結果の評価結果。
0:22:17	を追記したものとなっている。
0:22:21	28 ページをお願いします。
0:22:24	こちら、表 3-6 として、漏えい検知管の評価において使用したパラメーター及び、
0:22:30	計算結果。
0:22:32	28Pから 31 ページに示しております。
0:22:36	まずちょっと誤記があったため、ちょっとご説明させていただきます。
0:22:39	表 3 の欄、ハード 6 の中になるんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:43	その中、9Fとしまして、
0:22:46	除湿に寄与するドライウェル冷却系冷却器フウリヨ。
0:22:51	そしてマスクングかけて記載をしているんです。
0:22:54	見まして、その中で注記を振ってるんですが、
0:22:57	17に寄与する冷却材冷却としましては、
0:23:01	冷却機能4台中2台、
0:23:04	となるため、
0:23:07	ちょっと今中期の記載がちょっと適正ではないので、次回経営主任は、中期、記載を適正化して提出いたします
0:23:14	失礼いたしました。
0:23:20	ではまた先行電力との層位に戻らせていただきますが、
0:23:24	中期に、
0:23:25	の実践。
0:23:27	聞いております。
0:23:28	こちらは東海第2との相違となりますが、評価上の設計の取り方となっております。
0:23:34	以降の表の3-6の先行電力の方につきましては、ご説明済みの内容となりますので割愛させていただきます。
0:23:43	ページ飛びまして32ページをお願いいたします。
0:23:52	こちら、一番上の図3-9になりますが、
0:23:55	凝縮水流量が平衡到達時間についてということで、なるんですが、
0:24:00	こちら、
0:24:02	東海第2と、柏崎7事になりますが、設備構成の相違、具体的にはD/W内の自由体積及び流出に寄与する利益が続き不良の沿いなんです、
0:24:13	そちらの設備構成が異なるため、様式水量が減った方に到達する時間が相違しており、
0:24:21	同じページの3.3.6。
0:24:24	予算、激動冷却材圧力バウンダリの範囲の拡大現地時間に与える影響、なりますが、
0:24:30	そういう理由につきましては、
0:24:31	前後、すでにご説明済みの内容となるため、割愛させていただきます、
0:24:40	33ページをお願いします。
0:24:43	こちら、補正時から変更箇所があります。ご説明いたし
0:24:49	吉森の記載の第1パラグラフの中ほど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:53	経路というふうに言い始めたんですが、こちら、変更前系統と記載しましたので、ちょっと誤記であったため、記載の適正化を行う。
0:25:04	34 ページをお願いいたします。
0:25:07	こちら、4 ポツ、漏えいを監視する装置の継続費及び警報動作は説明となり、
0:25:14	先行電力の相違についてですか。
0:25:16	備考欄の四つめ。
0:25:18	になるんですが、
0:25:20	こちら、島根 2 号機の、
0:25:22	記載で 90%確保 1 件 35 リットルファミリーになる前。
0:25:26	というところに、実践を聞いてるんですが、
0:25:29	これは柏崎 7 号との相違でありまして、
0:25:31	島根 2 号機は、評価条件 20%に、計測誤差を考慮した形を設定をしておりますのでそれに伴う設備の相違となっております。
0:25:42	続きまして、35 ページをお願いいたします。
0:25:47	こちら、島根 2 号機の記載の第 2 パラグラフ。
0:25:51	1 行目から 3 行目に対して、
0:25:54	実践を聞いておりますが、
0:25:56	こちらは、東海第二と柏崎 7 号との相違でありまして、
0:26:00	島根 2 号機は、
0:26:02	ドライウェル床ドレンサンプの水位変化率の、
0:26:05	演算結果に対する警報設定という英語設定を、
0:26:08	プロセス計算を行っているため、警報動作範囲は特にの制限は特に存在しないことによる、
0:26:14	記載の通りとなって
0:26:18	以上で比較表の説明は以上となりますが、
0:26:21	ちょっと補足説明資料 1 についてご説明しますので、
0:26:25	お手数ですが補足説明書の 19 ページを願いたい。
0:26:45	こちら、
0:26:47	19 ページ以降で、
0:26:48	いうこととして、コリウムシールドが検証時間に与える影響について、
0:26:52	評価を行っています。
0:26:56	こちら、先行電力のヒアリングにおきまして、コリウムシールドを設置したことによる、漏えい検査に与える影響はどうなってるかというのを、ヒアリングというときにコメントを受けておりまして、
0:27:06	先行電力が補足説明を資料を追加しています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:09	島根 2 号機におきましても、原子炉格納容器の下部床面にコリウムシールドを設置しておりますので、同様な補足説明資料が必要と考え、作成しておりますので、これについてちょっとご説明をさせていただきます。
0:27:23	こちら研修時間の評価方法としましては、先ほどの説明と同様に、
0:27:29	漏えいについて、上記分及び液体分に分けてそれぞれ評価するとともに、
0:27:34	液体分については、コリウムシールドがある場合とない場合、
0:27:37	沖それぞれ議事課の評価を行って、
0:27:40	具体的には 20 ページをお願いします。
0:27:45	まず、9 ページとして、状況の漏えいについてなんです、こちら、上記分の漏えいについては、
0:27:52	説明書が評価方法と同じになりますので、
0:27:57	記載としては、
0:27:58	説明書が同じになります。
0:28:02	まず、状況の上については、コリウムシールドがある場合なんです、
0:28:12	配管から漏えいした漏えい水。
0:28:14	恩田稲井に滞留後、
0:28:17	コリウムシールド。
0:28:19	上に、漏えいで落下しまして、
0:28:21	コリウムシールドにつきましては、
0:28:23	こちら勾配がない設計となっておりますので、
0:28:26	先ほどの説明書のD/W画面と同様に、
0:28:28	漏えい水が、床面に均一に広がって、
0:28:32	増井、香取友田、了承します。
0:28:35	その後、コリウムシールドのスリット井内に流入して、
0:28:39	ドレン配管入口形をして、ドライウェル床面プレーンサンプに流入することによって、ドライウェル床ドレンサンプ推測的に大江沖にされることとなります。
0:28:49	評価方法についてご説明いたします。
0:28:52	21 ページになりますが、
0:28:57	落下低、
0:28:59	森藤の落下点から、コリウムシールドの入口までの移送時間は、
0:29:03	説明書のドライウェル下面と同様に、小瓶だオオノ式用いて評価しております。
0:29:09	22 ページをお願いします。
0:29:11	コリウムシールド。
0:29:15	スリット部からドレン配管入口までにつきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:19	説明書のドレン配管長時間の評価と同様に、
0:29:22	CD型の講師及び番組ディレクターの経験式を用いて評価を行っております。
0:29:33	23 ページをお願いします。
0:29:35	こちら、(2)としてコリウムシールドがない場合の総時間になる動かしております、
0:29:41	コリウムシールドがない場合については、
0:29:43	24 図の下に 4 ページの 9、図の 97 に示しております通り、
0:29:49	原子炉格納容器。
0:29:50	パピー仮面こちら効果がないので、
0:29:53	コリウムシールドがない場合と同様に、
0:29:55	帯のラウンド、
0:29:56	式を用いて評価を行っております。
0:30:03	ドレン移送配管に関して、ドライは床入口からドライウェル床ドレンサンプについて、25 ページに記載しているんですが、
0:30:11	こちらは、
0:30:12	コリウムシールドの席のみに関わりなく、同じ配管を追加することになり、
0:30:18	評価としては同じとなり、
0:30:22	また、
0:30:24	ドレーン上、ドライウェル床ドレンサンプ水位変化の残時間についても、説明書と同様の評価の 13 となります。
0:30:31	最終的な時計時間の評価結果をまとめたのがいいと 26 ページとなる
0:30:40	こちら、液体分の研修期間について、コリウムシールドがある場合とない場合を、
0:30:45	比較しているんですが、
0:30:46	検出時間としては、コリウムシールドがある場合が一番長くなるんですが、
0:30:51	ドライウェル床ドレンサンプ水測定当時による保健所時間。
0:30:55	右側の下になるんですが、は 43 分。
0:30:58	なっております。
0:31:01	説明書があれば評価しております。
0:31:04	D/W深めに漏えいした場合の研修時間。
0:31:07	59 分となりますので、その 59 分に包絡されるため、
0:31:12	コリウムシールドにより、1 人くらいの漏えい検診、
0:31:16	時間に対する影響がないことを確認しております。
0:31:22	以上です。
0:31:24	説明のほうを終わらせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:41	規制庁中根ですありがとうございました。スプライトの。
0:31:47	ちょっと確認なんです。先ほど 28 ページ 128 ページで、
0:31:54	NAK冷却機能 4 台分の不良 2 台に修正だったんですけど、すみませんちょっとこれ確認だけなんですけど。
0:32:01	6 であったと思うんですけど、
0:32:05	2 台が動いていて、
0:32:08	4 台は待機状態っていいですかね通常運転中、
0:32:15	中国電力河口です。すいません。
0:32:18	通常は、
0:32:19	こちら先ほどの補足説明資料には使ったんですが、上部 3 大かぶ、
0:32:24	3 台。
0:32:25	ありまして、
0:32:27	それぞれ実際運転は、上部 3 台減時代、下部、3 台で 2 台の計 4 台運転しております。
0:32:34	で、
0:32:35	さらにその 4、実際この
0:32:38	除湿に寄与するドライウェル冷却機器の井戸が、
0:32:41	下部の 2 台に該当します。
0:32:47	なので、
0:32:49	実際、
0:32:51	こちらのドライウェル冷却系、上昇に寄与するものとしては 2 台となります。以上です。
0:33:00	規制庁仲村です。準備が寄与しないってということですか。
0:33:08	その理由がちょっとわかんなくて。
0:33:14	中国の河口です。
0:33:17	ご指摘のですね補足説明資料の 9 ページ。
0:33:21	の記載になりますが、こちら、
0:33:24	ドライ 4.2. 1 としてドライウェル冷却系の構成についてという記載がございます。
0:33:29	こちらは記載しているんですが、
0:33:32	冷却機能手は上部、
0:33:34	下部も両方あるんですが、除湿機能としては、
0:33:38	樹脂付けを期待してる部門としては下部の冷却器のみ、
0:33:41	なります。
0:33:43	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:54	あ、規制庁ナカムラ付則の 9 ページの、
0:34:00	4.2. 1 の三原目ですかね、下部エリアの冷却は大分SKからも供給される水より、
0:34:08	格納容器雰囲気の提出に維持できる設計をするって書いてある。
0:34:12	ここの部分だと思うんですけど。
0:34:14	それで、教えて欲しいのは、江藤常務と神戸設計が若干違うという認識を持つといてもよろしいですかね。
0:34:24	中国電力河口です。ご認識の通りでございます。
0:34:28	以上です。
0:34:34	規制庁仲野ですあとわかりました等。
0:34:39	要は、上、下部だけは除湿機能を持ってて、上部は冷却機能だ形で、
0:34:46	上部 2 台、下部 2 台で、吉住長さんは 2 台だけってことで理解しました。
0:34:52	それでは注記のところに、その旨もうちょっとわかるように書いておいていただけると、9 条運転中 4 台使って、
0:35:01	てるはずなのに、ちょっと議題ってのはちょっと理由がわからなかったのて、記載いただいてもよろしいでしょうか。
0:35:10	記憶に浮かぶです。
0:35:13	了解いたしました。ちょっと注記の方に、その旨わかるように記載したいと思います。以上です。
0:35:21	規制庁仲間ですよろしくお願ひします。
0:35:45	規制等ナカムラです。それじゃ、まず最初の方からいかしていただきたいんですけど。
0:35:56	比較表の 4 ページのところて基本方針のところなんですけど。
0:36:03	基本方針、2 パラ目からそのうちから始まって、
0:36:09	そうですねドライウェル床ドレンサンプ水測定装置を保障した場合は、同等の機能を有する。
0:36:15	限界であって、
0:36:16	凝縮水等、放射性物質の測定装置によりっていうふうに記載があるんですけど。
0:36:24	凝縮水乳量測定装置の方は記載があったんで、わかったんですけど。
0:36:29	防水物質の測定装置が同等の機能を有するってのはちょっとよくわからなくてそこをご説明いただけますか。
0:36:41	中国電力阿久津です。少々お待ちください。
0:37:13	中国電力小口です。お待たせしました。
0:37:16	こちら、代替の機能を有するという記載なんですけど、こちら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:20	炉水が漏えいしますと、
0:37:22	放射線量があるということなので、それに伴ってこちら、
0:37:28	ダストモニターとありますが、
0:37:31	ドライウェル雰囲気放射性物質濃度測定時が、その分、
0:37:36	上昇、継続値が上昇しますので、それに伴っとりにより、
0:37:40	漏えいしてるっていうのを、
0:37:43	確認すると。
0:37:44	できるので、
0:37:45	こちら記載しております。以上です。
0:37:59	規制庁仲間です。すみませんこれそのイメージはわかるんですけど、それに対して1時間以内に0.232%の漏えい量検出能力。
0:38:12	ていうので、同等の機能ってのはちょっと、
0:38:14	わからなくて何かその基準みたいなものがあるんでしょうか。
0:38:25	中国電力久慈です。少々お待ち。
0:38:59	中国電力久慈です。
0:39:01	先ほどちょっとコメントいただきましたちょっと別途確認して、回答させていただこうと思います。
0:39:06	以上です。
0:39:11	規制庁仲間です。はい。またよろしくお願いします。
0:39:26	市長の吉崎です。
0:39:28	今の上のところ、比較の4ページの一番最初の設備の相違の、
0:39:34	①及び②の相違で、
0:39:38	結局その010のそういった一番最初の、
0:39:41	何だ。
0:39:42	1ページの、
0:39:45	①②だと思うんですけど。
0:39:49	あまりよくわからないばかりだして。
0:39:53	一井だと、漏えい監視に使用する計装設備の相違で新井田藤床ドレンサンプへの、
0:40:01	水量計測方法の一つ。
0:40:05	要は、これは、中身が違うってことですよ。
0:40:09	何がどう違うのかってのを、
0:40:12	ちょっとさっき説明あったかもしれませんが。
0:40:15	超音波水系だとか、
0:40:20	不明があったと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:22	ちょっと詳細に、一番最初の 1 ページのところに、
0:40:27	何が何がどう違うのかってのを記載していただきたいんですけども、その前にちょっと説明もう一度お願いします。
0:40:38	はい。中国電力河口です。ページでは、ご説明ですが、
0:40:43	6、比較表の 6 ページをお願いします。
0:40:50	こちら、図 2-1 の監視装置の概略図ということで、
0:40:55	D/Wカードレンサンプ。
0:40:57	農水測定装置。
0:40:59	島根の記載をしております。
0:41:01	比嘉につきましては、こちらの記載の通り、こちら、京橋汽水。
0:41:07	夏井検出器にて、
0:41:09	D/W加算分の水。
0:41:12	を測定しまして、
0:41:15	その水位の変化率、
0:41:17	計算機にて計算して、
0:41:20	漏洩量。
0:41:23	検出しております。
0:41:25	で、先行電力さんのことでちょっと答えにくいんですが、
0:41:31	東海大につきましては、同じページの図 2-1 に記載してある通り、
0:41:37	漏えい監視装置、
0:41:39	を設置しておりますので、
0:41:41	そもそも、
0:41:42	県する。
0:41:44	検出装置の設置位置も異なります。
0:41:50	ので、その旨を、沿い、リードしております。
0:42:01	以上です。
0:42:16	規制庁の吉田です。①と②は何が違うんでしたっけ。
0:42:20	①。今、説明と②です。①は、
0:42:25	何が違うでしょう。
0:42:35	中国で力カワグチです。すいません。こちら①の相違、この場合の①の総意としては、
0:42:41	島根 2 号機が記載している。
0:42:51	凝縮、
0:42:53	ドライウェル冷却装置凝縮水量測定装置があるかないかの違いとなって、
0:42:58	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:09	規制庁吉田です。
0:43:10	真ん中にあるFのドライウェル冷却装置の流量測定装置が、
0:43:18	日までにはあるというのが、それが違いということですか。
0:43:31	ご認識の通り、
0:43:35	なんか 9 点。
0:43:46	規制庁中です。
0:43:49	ちょっと
0:43:51	見にくいんですけど、
0:43:57	東海第 2 の、
0:44:01	内野。
0:44:04	と真ん中からちょっと左にある、
0:44:08	検出器は、
0:44:11	島根と
0:44:15	均質装置が違うとは思んですけど、これと同等の、
0:44:22	島野。
0:44:24	流量測定装置と同等の機能ではないという認識でよろしいですか。
0:44:54	中国電力河口です。
0:44:57	それを渡しました。
0:45:02	先ほどご指摘があったもの東海第 2 の記載の図の 2-1 の、
0:45:09	中ほどにある。
0:45:15	実際設備の記載が島根に同等ではないかどうかというご指摘でよろしいでしょうか。
0:45:22	規制庁の方は、そうですね
0:45:26	先ほどの測定装置の層位っていうふうになったんですけど、測定装置が同じで、東海第 2 は、
0:45:37	そうですね
0:45:39	それを使って、提出に使っていないんだっけで相違があるのかそれともそもそも、装置自体が違うものなので、
0:45:49	装置相違って書いてるのかってのがちょっとしたかったってことです。
0:46:12	19 電力の木本です。お待たせしました。
0:46:16	センコーさんとの違いですけどもまずトーカイさんの方は、外の蒸気で検出し、のぶ蒸気分を検出している検出器の方は、工認対象としての漏えいを監視する装置の方に、
0:46:29	入っておりませんが島根 2 号としては、凝縮水流量測定装置と、サンプルの水位、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:37	の測定装置の二つを、公認対象としているというところで、上記分の検出器を工認対象として、記載しているかどうかという点で違うというふうに考えております。
0:46:50	センコーさんの方で上記分を掲出している医療系の方が工認上見えてきませんので、仕様上、同じものかどうかというところはちょっと現状わかっていませんけれども、
0:47:03	構成図等を見る限りは流量を計測するという機能上は同じようなものではあろうと。
0:47:09	考えますけれども、工認上の位置付けとして当該譴責を位置付けているかどうかという点で違うというふうに考えております。以上です。
0:47:33	規制庁仲間です。佐瀬さん、その説明をちょっと聞いた限りだとその①の相違っているのが、その計装設備の相違では
0:47:43	測定の条件というか、構成。
0:47:48	珪質の。
0:47:51	公認の位置付けの相違っているふうに理解しましたので、それであればちょっと①の、
0:47:59	そういったのがそれがわかるように適正化いただければなと思うんですけども、それは可能でしょうか。
0:48:08	中国電力羽渚です。
0:48:10	ちょっとご指摘の通りちょっとこちらの記載はちょっと記載を、
0:48:13	検討いたします
0:48:14	以上です。
0:48:37	あ、規制庁ヨシザキです少し1ページ目のところ、僕、1ページ、1ページ目のところの差分は何か簡単に書いてあって、備考はすごい細かく書いてあるのかなと思ったら、そんなに。
0:48:50	あまり変わらないみたいなので少し、1ページ目でもいいんですけど少しもう少し詳しく。
0:48:58	詳しく書いてもらって、その①は、その備考のここですよっていうふうにいただければ、もしわかりやすくなると思うんですけども、ご検討いただけますでしょうか。
0:49:18	中国の岡部です。
0:49:19	ちょっとこちらの備考の記載についてちょっと検討。
0:49:22	発表していきました。
0:49:26	麻生伊井後ちょっと記載についてちょっと一度見直し検討したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:32	はい。よろしくお願いします。
0:49:35	あと比較表、少し飛んでですね 16 ページ。
0:49:43	10 ページで先ほど説明あったところの、これいいのか 90%以上のところの下 のところで線が引いてあって、
0:49:53	これが評価上の設計余裕の通り片野沿い、これは何、何何が違うのかってい うのがよくわかんなくて、
0:50:03	御所余裕の取り方の相違っていう、これ何を言いたいんでしょうか、説明して。
0:50:20	中国電力河口です。
0:50:23	こちら、記載、この 90%の実践を聞いているんですが、
0:50:27	こちら、すいません。
0:50:30	ページ飛びまして 32 ページ。
0:50:33	こちら閉校到達時間のグラフがございます。
0:50:41	こちら、次、
0:50:44	凝縮開始後の到達時間からと、横軸にして、縦軸で凝縮水量。
0:50:50	を示した図となっております。
0:50:53	で、凝縮水流量が、
0:50:57	漏洩量の場合、
0:51:01	1.5。
0:51:03	2 なんですか。
0:51:04	それが
0:51:05	イコール、このグラフの通り残金線になってまして、時間が経つたびに、
0:51:11	漏洩量と凝縮水量が、
0:51:13	どんどん近づいていくというグラフになっており、
0:51:16	近づくんですけど。
0:51:19	イコールになるのは、
0:51:22	ずっと期間が経過して、
0:51:25	ので、こちらの漏えいの検出時間の、
0:51:29	評価に当たりましては、
0:51:31	漏洩量と。
0:51:33	対して、凝縮水量が、
0:51:35	今回の評価においては、90%になった時点、
0:51:40	をもって並行と立つ凝縮水量と、
0:51:44	どう
0:51:45	次がイコールになったと。
0:51:46	そして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:48	検出時間の評価を行っております。
0:51:52	今回この場合は、90%。
0:51:56	を評価して、
0:52:01	設計用の取り方の相違とあるんですが、こちら、
0:52:05	センコー、
0:52:07	東海第2とそうなるんですが、
0:52:09	東海大におきましては、この90%に対して、
0:52:15	比較表で言うと19ページ。
0:52:19	の中ほどの記載。
0:52:22	この数字。
0:52:23	のところ実績ですか、このような設定をしており、
0:52:28	それではちょっとこちら、
0:52:30	A社の90%が異なる値となるんですが、
0:52:36	評価の考え方としては、先ほど平衡到達時間を想定して、評価時間を掲示しているという考え方は一緒であると。
0:52:44	いう旨を、備考欄に記載しております。
0:52:47	以上です。
0:53:07	規制庁に申し上げた設計流の取り方っていうのは、
0:53:11	このグラフでいうと今説明あった平行到達時間は、
0:53:19	そういうふうにしてるとか、その設計余裕の取り方の相違ってのが、
0:53:28	中国電力河口です。すいません。この設計よりの取り方というのが、
0:53:32	こちら16ページの中程刑法の記載があるんですが、
0:53:38	こちら、
0:53:39	先ほどの並行到達時間は90%と。
0:53:42	設定するにあたって、
0:53:44	こちらの、
0:53:45	漏えいの検出の傾向も、
0:53:48	併せて90%。
0:53:51	に設定しております。
0:53:53	なのでこの警報の取り方、
0:53:57	90%kを出すようにしており、さらにそれに、継続さを考慮してるんですが、
0:54:02	それを踏まえて、石油の取り方、
0:54:05	としております。
0:54:06	以上です。
0:54:15	規制庁の伊佐ですその下にある

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:18	90%千頭以下以下も、
0:54:22	確認したと思ったんですけども、そちら側の計測部さあ、
0:54:29	設計余裕の取り方と言っている、何か二つ等別々に書いてあるから別々なものだったんですけども。
0:54:36	ここ関係があって、同じことを指している。
0:54:41	そういうことですか。
0:54:45	中国電力河口です。こちら設計優位の肝としては、この今記載している。
0:54:50	90%。
0:54:53	警報
0:54:54	についても 90%。
0:54:58	上限としてますのでこの 90%。
0:55:02	記載について、設計の取り方。
0:55:04	としております。
0:55:07	出ます。実際の警報設定としては、その 90%にさらに継続期の誤差等々を考慮した値で設定しております設定値としておりますので、
0:55:16	そこに対して、記載していいかというのを記載しております。
0:55:21	なのでこちらへといいかというところの、そういう理由が、備考欄でいうところの上から三つ目。
0:55:27	のところの、
0:55:30	そういうとなっております
0:55:31	以上です。
0:55:41	規制庁の義崎です何となくわかってきました。設計余裕の取り方だから、
0:55:46	0になる前に 90 で、
0:55:50	ということですかね。
0:55:52	上の方、寄付できるかと。
0:55:55	木口委員ご指摘の通りでございます。下の方は設定値は余裕を持って、5社を考慮した設定値は、これはわかるんですけども。
0:56:06	90%以下に設定するってのは、
0:56:09	90に対して70なのか67日50なのかっていうのは、以下なんで、その計測後シャーアワー。
0:56:18	そんなに。
0:56:20	大きくないんですかね少し、
0:56:24	いいかっていうとすごい幅があるから、
0:56:27	どのくらいなのかなっていうのを少し、現状の設計で、
0:56:33	どれくらいなのとかちよっと、以降に書いていい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:36	いただくことは可能でしょうか。
0:56:48	中国電力河口です。
0:56:50	実際こちらまいかと書いているんですが、実際、設定値としては、この 90%に対して、計測誤差を加味して、
0:56:58	約 70 何%とかそういう値で設定しております。
0:57:03	ので、ちょっとその旨を、
0:57:06	具体的なFujiiについてちょっと記載検討。
0:57:13	規制庁ヨシザキです。計測誤差というと何かプラマイを 5%とか、すごいもうちょっとシビアかと思ったんだけどかなり。
0:57:21	低く、何か。
0:57:23	瀬口。
0:57:25	景気誤差だけなんですかね今今 70 だとすごい低いから、何かそれ 2、さらに設計要員ですかね、そういったものが入って、
0:57:35	言うかどうかについても少し、ご検討いただいて、記載を適正化してください。
0:57:42	19 年度カワグチです。
0:57:43	了解いたしました。
0:57:49	規制庁仲野ですヨシザキの件に関連して 34 ページ 35 ページで、
0:57:57	警部にも、
0:58:00	どうぞない。
0:58:02	警報時の、
0:58:05	値なんですけど。
0:58:06	おそらく、34 ページの、
0:58:11	4.153 警報動作範囲は下に、当然の 90%括弧 1.351 とか、三つのになる前になって書いてあるので、
0:58:21	おそらくここもう、同じような継続性を考慮した設計にしていると思うのでそこも同様にちょっと記載のほうを検討いただければと思います。
0:58:31	あと 35 ページのドライウェル床ドレンサンプ水位変化率から始まる場所の方にも、理由になる前についてというのがあってここも同じだと思うので、そこも同様をお願いしたいと思います。
0:58:47	中国電力久慈です。
0:58:48	了解いたしました。
0:58:59	はい。規制庁吉崎です。架空の 22 ページ。
0:59:07	これ先ほど少し触れたんですけども、
0:59:12	水位変化率の計算方法の相違で、
0:59:16	島根は最東海林情報で先行違うんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:21	ここがその計算の何ていうか、どれぐらい伊佐社が、
0:59:27	最少事業方ってのがすごい。
0:59:32	すごい誤差を小さくするのか。
0:59:35	どちらが何ですか、シビアな。
0:59:39	計算ができるんでしょうか。少し
0:59:42	ざっくり説明します。どれぐらい違うのかという。
0:59:56	はい。中国電力の木本です。センコーさんの記載等、島根 2 号の最小事情方の違いですけれども。
1:00:07	センコーさんの計算等再処理情報で、漏えいの傾き、
1:00:14	今回水位変化率の計算となりますので傾きを計算することになるんですけれども、センコーさんの方法ですと、結果的に、
1:00:24	2 回分のSE測定結果のサンプリング値を使った、傾きの出し方ということになる。
1:00:34	と。
1:00:35	考えております。
1:00:36	再処理情報の場合ですと、参集気分 4 回分の検出。
1:00:42	した数値。
1:00:44	についてそれぞれ、この 4 点。
1:00:47	の金利極金利の直線一次直線を引く形になりますので、直接的に傾きを計算する方法が最小時情報になると。
1:00:58	いうふうに考えておりますが、どちらの方がシビアかということになりますと、増井の、
1:01:05	ドレーンのたまり具合です水水位の上昇が
1:01:10	瞬間的に上がったたり下がったりというところを排除できるという面においては最小事情方の方が、残りの 3 点を使って傾きの近似値を出しますので実態に近い傾きで、
1:01:23	計算できるんじゃないかなというふうには考えておりますけれども。
1:01:28	それと比較してセンコーさんの計算の方法で 1GPM というものの水位変化率を出す上で何か、
1:01:40	ここに優劣があるかと言いますと傾きを出すという点では同じような、計算というか結果的に出てくるものはそんなに変わらない。
1:01:49	ものが出てくるのではないかなというふうに思いますので傾き水位変化率を出すという点で
1:01:58	4 点の計測点を使って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:01	直線の一次直線の近似値を出すという点で一般的によく使う際東海林情報の方を島根 2 号としては採用してると。
1:02:11	いうふうにお考えいただければいいのかなというふうに考えております。以上です。
1:02:19	規制庁井関です。
1:02:21	わかりました。今の説明で、少し最終次情報使う、こういう時に適してるっていうのを、備考の方に少し記載、今の説明の、
1:02:33	ところをもう少しかみ砕いて記載していただきたいんですけどもよろしいでしょうか。
1:02:42	記憶にカワグチです。
1:02:44	了解いたしました。
1:02:45	以上。
1:02:48	中国電力の木本です。今の件ですけれども備考欄の方の記載としては、最小時情報を使用してサンプリング点 4 点の、
1:02:59	一次曲線の近似で傾きを計算しているというような簡単に今ご説明した内容を、サマライズしたような記載というところで考えておりますのでよろしくお願います。
1:03:14	規制庁吉崎です。はい了解です。お願いします。
1:03:17	少々お待ちください。
1:03:22	規制庁中間です 1022 ページ。
1:03:25	なんですけど、ちょっとご説明いただきたいのが、1 の、
1:03:30	本年からもらえるまでの時間で、
1:03:35	オンラインの想定なんですけど、保守的に香田の一部が損傷したことを仮定し、漏えい水があって、書いてある。
1:03:43	その過程のちょっとイメージがよくつかなくて、
1:03:48	どういうイメージのかったのをご説明いただけますか。
1:04:09	発表電力カワグチです。少々お待ちください。
1:04:34	中国電力川口です。お待たせしました。
1:04:37	想定としましては、配管、方も含めて、
1:04:42	圧損する。
1:04:43	というのではなくて、本来が一部ということで、
1:04:47	今の想定であれば、まず配管が破損しまして、
1:04:51	その、
1:04:52	外側の本題があるんですけど、その間で、水が、
1:04:57	ボイスがたまると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:58	たまった、
1:05:00	漏えい水が箱の場合、2分割を想定してるんですが、その半分の、
1:05:06	ところまで、
1:05:07	OSがたまった時点で、
1:05:09	その分割分から、
1:05:11	漏えい水がモデルというのを想定しております。
1:05:14	それを踏まえて、
1:05:16	一部が村政をしたことを仮定したというのを記載しております。
1:05:20	以上です。
1:05:21	中国電力の田原です。少し簡単に明示しますと、例えば大破断LOCAみたいなように、がつつり配管破断して漏れてるみたいなそういうことではなくて、
1:05:32	商流漏れるようなことを考えます。そのような状態を考えますと、少しばかり問題が、その増損傷する程度だよ。そういったところをイメージした、
1:05:43	いただければよろしいかなと思います。以上です。
1:05:54	規制庁の吉崎です。今
1:05:57	保温材からの漏えいの、
1:06:00	ちょっと説明補足説明書いてあるんですけど。
1:06:05	附属設営の14ページ。
1:06:10	これの金属保存剤等、一般保存問題か。
1:06:15	一般fromナイトウ保温材と金属問題で、
1:06:18	盛。
1:06:21	想定してその漏えい。
1:06:24	が違うんですけども。
1:06:28	具体的にどこどこから漏れるんですかね。これちょっとコウフズが同じ図、同じような図で、
1:06:33	何が違うのかわからなかったんですけど。
1:06:37	説明してます。
1:06:48	9億電力カワグチです。
1:06:51	補足説明資料の14ページ15ページにそれぞれ、本田伊井。
1:06:57	から流れるまでの期間の概略図があるんですが、
1:06:59	漏えいの考えはちょっと14ページの図7-1なんですが、金属本体から流れる場合は、こちらエイトマンなかの。
1:07:08	こちらが配管となっております、配管から漏えいが発生し、
1:07:13	発生した場合に、外側の、
1:07:16	この場合、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:18	738 って書いてますけど、こちらが保温材となります。
1:07:22	この配管とホンザイの間に隙間がありますので、
1:07:27	その隙間空間に漏えい水がたまります。
1:07:31	漏えい水が溜まって行って、どンドン、三井があるんですが、つい上がって、
1:07:36	こちらの図で真ん中に線を引いてるんですが、こちらが本来の、
1:07:40	二つに分割してってるんですけど。
1:07:44	分割してるところまで水位が上がると。
1:07:48	その分割してる。
1:07:49	所。
1:07:52	部分から漏えい図 1 か。
1:07:55	問題のところに、
1:07:58	いうのを想定しております。
1:08:01	以上です。
1:08:05	ちょうどヨシザキです一般ホンザイを同じなんですかね。
1:08:12	同じ想定です。はい。
1:08:20	中国の確実、同じ想定です。以上です。
1:08:26	規制庁中村です。只野。
1:08:30	今の配管が、から水が漏えいして、
1:08:37	D2 分架空の下の方に溜まって行って、
1:08:41	その 2 分割の継ぎ目というんですかね上部と下部の大向の関根から、
1:08:49	水が漏れてるっていうふうな決めだったんですけど。
1:08:52	保守的に本来の一部が損傷したことを仮定するという文言は、
1:08:59	2 分割の間から漏れてたことを、一部が損傷したと仮定するというところで説明をしてるという理解でよろしいですか。
1:09:28	中国電力河口です。少々お待ちください。
1:10:02	中国電力粟国です。
1:10:04	お待たせしました。こちらの記載、ちょっと損傷の仕方によるんですが、今のこの想定としましては、本来、
1:10:13	損傷としても、ごく一部が損傷したとして、今想定している。
1:10:17	2 分割の継ぎ目以外からは、
1:10:20	漏えい水が外に出ない。
1:10:22	ていうのを想定してるという意味合いで、
1:10:25	この一部が損傷したことを仮定して、
1:10:27	柚木待機してますんで次名についてはもともとあるものなのでこちらは損傷ではごさい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:33	以上です。
1:10:37	規制庁仲間です。
1:10:40	損傷したことを仮定してるけどその損傷部分から出ないという想定です。
1:10:46	ということではない。
1:10:50	中国電力久慈です。ご認識の通りでございます。
1:10:53	以上です。
1:11:00	規制庁仲村です。すいません。
1:11:03	そもそもなんですがそれを仮定を置く意味が、
1:11:06	あるんですか。
1:11:25	中国でカカワグチです。
1:11:27	すいません。こちらちょっと記載の必要性も含めてちょっと確認したいところちょっとご回答させていこうと思います。以上です。
1:11:35	規制庁仲間です。すいませんちょっと話若干
1:11:40	読んだときに、なかなかこれ、
1:11:44	保守的に本来だってその配管だったら何となくいけないかなと思うんですけど、
1:11:49	恩田の一部が損傷したことを仮定していうところで、ただ、出てくるのは次ね。
1:11:56	それから時間という形なので、ちょっとそこも記載の必要性も含めてご検討いただけると思いますのでよろしくお願いします。
1:12:06	中国電力久慈了解いたしました。
1:12:14	規制庁仲間です。先ほどの
1:12:19	レベル 1、2 分割したものからもらえるっていうのは、理解しました。それで 1 個確認だけなんですけど、
1:12:28	23 ページの一番上の式見る等本来株の、
1:12:33	田井関委員。
1:12:35	理由で終わってる資金な。
1:12:38	てるので、
1:12:39	本当に確認だけなんですけど。
1:12:41	滞留は、
1:12:43	造影剤の漏えいの滞留は、下部の堆積分だけ起こって、保守的に恩田渥美とかは考えてないっていうことでよろしいですか。
1:12:57	中国燃料カワグチです。ご認識の通りでございます。
1:13:00	以上です。
1:13:05	規制庁ナカムラ作業開始しました。23 ページ、さっき栗崎
1:13:11	の話もあったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:14	金属問題等、一般問題で、書き分けてる。
1:13:20	理由が。
1:13:22	坂内、ご説明いただけますか。
1:13:31	中国電力の木本です。金属ホンザイと一般保温材を書き上げている理由としましては、センコーさんの記載というところもありますけれども、実際島根2号機として当該今評価している配管の中で金属保温材の部分と、
1:13:48	一般訪問材の両方を使用しているというところで、センコーさんの記載もあるというところ踏まえて使用している訪問材というものに関係するものは、記載をしております。
1:14:00	今ほどお話ありましたように評価の式、考え方自体はどちらも同じものを、
1:14:08	島根としては適用しておりますので、考え方としては全く同じにはなりませんけれども使用しているホンザイとして、記載を、両方ともしているというふうにお考えいただければと思います。以上です。
1:14:25	規制庁仲村です。沖君は理解しました。
1:14:31	その上で
1:14:33	そういうちょっと言いにくいところもあるんですけど、金属ホンザイと一般ホンザイで、
1:14:39	当然、材質は違ってって、
1:14:44	金属は水を保持しないと思うんですけど、一本で、そのちょっと材質な。
1:14:51	わからないんですけど、水を吸収したりっていうのはしないと思っていてよろしいですかね。吸収するとすると、
1:15:00	当然、時間が遅くなると思う。
1:15:03	ちょっとそこはいかがでしょうか。
1:15:28	中国電力実少々お待ち願います
1:15:40	お待たせしました中国電力の木元です。九州。
1:15:44	の面についてですけども先ほど
1:15:48	ありましたけれども保温材の厚みであるとか体積の方は全く考えずにこの空間部に水が漏れ水が溜まって
1:16:00	漏出するということを考えておりますので仮に九州等がある。
1:16:06	としましても、基本的には評価としてはこの部分に水しかないという評価をしておりますので、その点においても評価上その分があやしい保守的になると。
1:16:20	いうことはないというふうに考えております。また一般ホンザイについては基本的に8水性であったりとか、しますので、吸収による影響というところも基本的には今回の評価上を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	特に考慮しなければならないというようなものではないというふうに考えております。以上です。
1:16:54	規制庁ナカムラさん、了解しました。
1:16:57	本来株の全量が水になるという形でやってるんで、全部保守的であろうということで、理解しました。その後、補足説明資料。
1:17:10	構いませんので
1:17:13	一般本がいいのか、九州等も、先ほど説明された内容を少し補足いただけてもよろしいですかね。
1:17:25	中国電力青木です。
1:17:28	ちょっとよく説明広川にちょっと記載を、
1:17:31	検討いたし
1:17:38	規制庁の伊勢です。先ほど中村からお話あったように、もうそもそもその二つははっきり分けてそれは
1:17:45	島根で扱ってるからって話なんですけど、サイズホンザイの何だ、7-1の補足説明の、
1:17:54	14ページの図7-1のこの、
1:17:57	何かサイズと、この一般本来のこのサイズってのは、
1:18:02	これはどこの、
1:18:05	配管のサイズを、
1:18:07	持ってきたんですか。
1:18:16	中国電力河口です。少々お待ちください。
1:18:50	中国電力の田原です。金属本体の方が、
1:18:55	PLR再循環系で
1:18:59	1%問題側、こちらは削る形になり、
1:19:04	以上。
1:19:07	成長に応じてですねその辺も主わかりやすいように追加して記載していただきたいと思うんですけど、よろしいですか。
1:19:17	はい。中国電力の田原です。了解いたしました。
1:19:22	規制庁江崎です。よろしく申し上げます。
1:19:25	比較表に戻っていただいて、
1:19:29	目標の、
1:19:33	26ページで、
1:19:36	あと検出時間のところ、
1:19:39	一番最後の行で、最大59分で検出可能であるから、1時間以内に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:47	検出できる設計であるという1時間以内なんですけど、センコーさんと比べてやっぱり、若干遅くなってるんですけど、これの何て言う理由は、どういった理由で遅れる。
1:20:09	中国電力河口です。
1:20:12	とこちらの相違としましては、
1:20:16	具体的には、
1:20:20	2年までの評価においては、ちょっと先行電力との評価の違いとしましては先ほど、
1:20:26	比較でご説明した。
1:20:28	D/W以下
1:20:30	面の形状、
1:20:32	相違してる。
1:20:34	ていうのがありまして、
1:20:36	その部分、
1:20:39	比較表で言うと27ページ。
1:20:42	の、
1:20:42	図3-8。
1:20:44	2、こちら評価結果を示してるんですが、
1:20:48	こちらで言う、右側の液体部の評価のところの、訪問材からドレン会館入口の、
1:20:55	フォローT7になるんですが、こちらがちょっと先行、柏崎。
1:21:00	丹と比べると、時間が長くなっております。
1:21:04	そのため、セイシュウ的な検閲時間が長くなっていると認識して、
1:21:09	以上です。
1:21:12	中国電力の木本です。若干補足をしますけれども、評価事項が全体的に長くなっているというところで
1:21:21	図3-8の方でセンコーさんの数値と比べると、比較的差が大きいのが、そこであるというところでそこが大きな差にはなりませんけれども。
1:21:33	基本的に配管長であるとかいろんなところで保守性を見込んでいるというところで実際、
1:21:40	の配管長であるとかっていうところのその保守性のところも含めての59分というところですので、全厚さんと比べてそんなにほど、大きく、
1:21:51	1時間に君に移設してるというような話でもないのではないかなというふうには考えております。以上です。
1:22:01	規制庁吉崎です今の図3-8で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	説明いただいたとTだなーが増えてる理由は、これは何でしたっけ、容積が大きいな、これこれは何が違って、時間からですか。
1:22:19	中国電力河口です。こちら、先行電力さんと違いとしましては、
1:22:25	というか、
1:22:26	どれ流下面については島根 2 号機においては、
1:22:30	変更さんはあるんですけど勾配がない設計となっております。
1:22:33	勾配があれば、そのまま普通に流れるんですけど、その勾配がないため、
1:22:38	こちらを、
1:22:39	ドレン配管入口まで百貨店から本当は入口までの流れ、時間がかかる。
1:22:44	実際、水が落ちて、それが滞留してって、
1:22:49	どんどん水位が上がってそれが最終的にドレン配管入口に流れるというよう な、
1:22:54	工程を終えますので、その分、先行さんに比べて、
1:22:58	時間が、
1:22:59	研修時間としては多くかかっている。
1:23:02	なっております。
1:23:03	以上です。
1:23:05	長水木です。わかりました。
1:23:08	わかりましたが少しその辺を備考に書いていただきたいんですけども。
1:23:13	勾配がないから。
1:23:14	床ドレン配管に辿り着くのが時間かかるっていうのはそれは、
1:23:18	その通りだと思いますので、
1:23:20	少し違いを明確に書いていただかないと、何で違うのかってのが少し見えにく くなっているので、
1:23:29	そこら辺を明確に、
1:23:35	差分として説明いただきたいと。以降の方に記載していただきたいと思いま すがいかがですか。
1:23:48	中国電力小口です。了解いたしましてちょっと。
1:23:50	以降の記載についてちょっと検討。
1:23:53	見直し。
1:23:57	すいません中国電力の本本ですけども、ただいまのお話ですけども評価 の時間の結果というよりは、評価方法として、
1:24:07	今、一番最初のページの⑥でドライウェル床面形状の層に伴う、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:13	評価方法の相違というふうに表示しておりますけれどもここに勾配の有無というような、具体的な記載をするということで、評価の仕方が違うということが見えれば、
1:24:24	いいのかなというふうにも考えましたけれども。
1:24:27	結果として数字が大きくなるというところというよりかは評価方法かと思いたすがいかがでしょうか。
1:24:36	以上です。
1:24:42	規制庁の伊勢です。設備が違うから評価する方が変わってくるってことだと思っんですけど。
1:24:49	その辺ちゃんと、1 ページのところでも、
1:24:54	そういう書いて、そこ、
1:24:58	そこによると、
1:25:00	ここ何もあまり書いてなかったの、
1:25:02	そういう理由と適切にその総意の場所にリンクするようにはしていただきたいと思いたす。
1:25:21	中国電力加来です。了解いたしました。
1:25:24	以上です。
1:25:28	市長の吉井ですが、その上で先ほど説明でもあったんですけど、比較の 24 ページのところ、
1:25:37	24 ページの上のところでも五輪ならオオノ式で、
1:25:43	そこに
1:25:45	123 ページか 23 ページでガンリョウエキ他の式は、その床の勾配がないので、使用できないとかって言っていましたけども、
1:25:55	その辺についてももう少し、なんでそのツーカー使っていないのかというのも、差分として明記していただきたいと思いたす。これはまあ、
1:26:05	一番初め最初の①でもいいんですけど、1 ページ目ですけど。
1:26:10	少し何で消したとか、何で追加したとかっていうのを明確に者分として、説明をいただきたいと思いたす。
1:26:23	中国電力加来です。今、ご指摘のいただいたやつは、ものにつきましては 23 ページの、こちらの備考の記載について、そこより充実化するようにという、
1:26:37	宮城によろしかったでしょうか。
1:26:41	規制庁の井関です。はい。23 ページでも、石堂⑥のところの一番最初でもいいんですけど、適切に差分の説明をしていただきたいと思いたす。
1:26:55	中国の加来です。了解いたしました。
1:27:25	規制庁ナカムラ窃盗、補足の 13 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:30	んなるんですけど。
1:27:32	その計数の、
1:27:37	0.01 にしてる。
1:27:39	理由なんんですけど、
1:27:43	多分 0.13。
1:27:45	植木さんの方が流速が遅くなってると思うんですけど。
1:27:50	0.1 とした理由は、直井甲斐の方がメインになってると思う。
1:27:56	思っというてよろしいですか。
1:28:08	中国電力の高です。今、
1:28:11	ご指摘いただいた通りとは認識しております。以上です。
1:28:18	院長仲座。
1:28:19	藤垣内だけなんんですけど、本評価で使用する件数は、ほぼ
1:28:26	外交便覧を参考にして書いてあって、
1:28:30	0.1 しているっていうふうに記載があるんですけど。
1:28:33	むしろ 0.01 とした理由は、
1:28:36	実機の県立高校間の、
1:28:40	このケースが 0.1 以下。
1:28:42	で、
1:28:43	それを、
1:28:45	基幹国民の中の範囲に含まれているのでっていう理由の方が、
1:28:52	文章として書きぶりとして正しいかなっていう気がしてて、
1:28:57	単に上の表上の、本評価で使用するそのケースはって書いてあると。
1:29:03	入力をそのあとご指摘な 0.13 を使えばいいんじゃないかっていうふうにも見えちゃうって。
1:29:09	そこはちょっと、
1:29:11	なお、なお書きじゃなくて多分、その下の方がメインの理由になってくると思うのです。これちょっと、記載の 1 適切に所見として修正いただければと思います。よろしくをお願いします。
1:29:23	中国電力の田原です。了解いたしました。
1:30:45	少々お待ちください。
1:32:18	規制庁仲村です。すみません補足の 12 ページの 7.2 の、
1:32:26	ところなんんですけど。
1:32:29	その中の 16 ページのズー真野さんが首から取れないかまだちょっと時間の概略図で、
1:32:38	図の中でその落下点と水位形成範囲っていうので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:43	炎上の 4 名の一井郷水系清伴石井ですけど。
1:32:48	これ実際に勾配がない、ないとすると、ラップ店からは、
1:32:56	Cが、
1:32:57	秘密に形成される両側に広がっていくという、
1:33:02	と思うんですけどそこはいかがでしょうか。
1:33:17	中国電力阿久津です。少々お待ちください。
1:33:56	中国電力、小口です。お待たせしました、それと先ほどのご指摘B、また、図 7 -3 なんですが、
1:34:05	本体版に行く場合は、反対側にも、配管、入口がありますので、そちらの方に 流入いたします。
1:34:14	以上です。
1:34:18	規制庁ナカムラさん、了解しましたそれでちょっとこれ、谷井、
1:34:24	確認なんですけど、語尾練ろうの式で、ドレン配管の流出量 9 を出すときに、
1:34:33	流出係数と越流幅と越流水深。
1:34:40	関数とか式になってると思うんですけど。
1:34:44	この 1 越流水深というのは、今の図の 3、落下点から推計で範囲。
1:34:52	片側に行く場合と、両側に行く場合で、落ちてくる人の利用が同じだとすると、
1:35:01	広がる範囲が、左右にいっちゃうと、水深で変わってくるんじゃないかなあと思 ってた、単純に 2 分の 1 になるんじゃないかなと思ったんですけどそこはいか がでしょうか。
1:35:21	中国の河口です。
1:35:23	ご指摘の通り、
1:35:25	こちらのHにつきましては、
1:35:29	単純に
1:35:32	こちらのドライウェル床面の滞留量と、
1:35:36	特に水が溜まってるところの面積で割ったものになりますので、ご指摘の通 り、その体制類が面積が増えるとその分、
1:35:44	Hとしては、
1:35:45	下がります。以上。
1:35:53	規制庁仲村です。
1:35:55	このエンチっていうのは、今の図 7 の 3 を見た限りだと、
1:36:02	赤点から推計で範囲食う。
1:36:06	物を、落ちたものが、ドレン配管の方側に行くイメージでちょっと私見てたん ですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:13	実際には、9 っていうのは、その百貨店から左右のドレン配管入口に行く流量、
1:36:22	という認識で、
1:36:23	よろしいですかね。いや、
1:36:25	谷井側に行く。
1:36:29	物があって、その両側に入ってくる流量を足したものが、全体の 9 という、思っ てよろしいですか。
1:36:56	中国電力川口です。少々お待ちください。
1:37:53	中国電力小口です。すいません。お待たせしました。
1:37:56	実際のドライウェル床は、今こちらの図だと、特に何もなくなってるん ですが、実際にいろいろフゾクの構造物等々があります。
1:38:07	なので、
1:38:08	今ちょっと表。
1:38:09	それを踏まえて、実際見て落ちたら今、
1:38:13	人数 7-3 では、
1:38:14	片側だけに行けるようになるんですが実際
1:38:17	水泳というか、最後に広がるんですけど、
1:38:20	先ほどご説明した、構造物等がありますので、そこには水が、
1:38:25	次は消されませんので、
1:38:27	そういうのを考慮した上で、こちら今評価としては、
1:38:30	片側の、
1:38:31	面積としては四分の 1 のエンシュウのところ。
1:38:35	水が張られるというような評価を行っております。
1:38:39	以上です。
1:38:42	中国電力にすいません。
1:38:44	具体的な構造物等にて別途整理して、
1:38:49	ご回答します。以上です。
1:38:56	続いて高橋すいません
1:38:59	構造物を考慮してっていうのがちょっとよくわからなかった。
1:39:03	なんですけど。
1:39:05	構造物を考慮して、片側にした。
1:39:09	ということでちょっともう 1 回ご説明いただけますか。
1:39:19	はい。中国電力の本本です。片側にしか水が流れないというよりはですね、 流域面積、水が張られる面積の想定として、
1:39:30	四分の 1 演習の面積を想定する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:34	しているというふうにお考えいただいて 4 分の 1。
1:39:38	の面積分しか水。
1:39:40	を貼ることを想定していないことの方としましては、両方に水が広がったとしても内部構造物等で排除される部分というところを除くと 4 分の 1 の面積程度。
1:39:54	考慮しておくことで基本的には評価できるのではないかとこのところで今の面積の 4 分の 1 を使った評価を今しているというものになっております。
1:40:04	ちょっとですね内部構造物等を踏まえてこの、
1:40:08	四分の 1 の面積の想定の方でいいかというところを今ちょっと手元に資料がなくてですね、あと、実際の最新の配置等を踏まえたところで、
1:40:20	妥当かどうかというところをちょっと今確認とれておりませんのでその辺りも踏まえて今の評価内容でいいのかというところは、また精査させていただいて必要に応じて評価。
1:40:32	反映が必要であれば反映していきたいなというふうに考えております。以上です。
1:41:09	規制庁仲村です。
1:41:13	それと、構造率の関係で、
1:41:18	全体としては四分の 1 程度じゃないか。清
1:41:25	それはちょっと精査するというふうなお話だったんですけど。
1:41:29	それでは、単純な疑問で申し訳ないんですけど、釣
1:41:34	構造物があると。
1:41:37	なんかせきとめられたりとかで、流れが遅くなるっていうようなことは、ありますか。例えばその、
1:41:47	さらにこの後見直しキーのどこに効いてくるかってのちょっとわかんないんですけど、やっぱり幅が、
1:41:53	小さくなると。
1:41:57	Qって、小さくしてみる減りますよね。そこら辺がちよっと、
1:42:02	構造図があることによってせきとめられるとかそういうことが、
1:42:06	あるんでしょうか。
1:42:16	中国電力の木本です。英語ビンダー青の式場ですね越流幅が小さくなると、というところはありますけれども、今見ているのが 4、Aとは
1:42:28	と言いますと真ん中のペDESTAL部分抜いた部分を、半径のところを越流幅というふうに想定しております、実際広がる時の、
1:42:38	幅としましては、広がってる三つの縁という形になりまして多少構造物等で、ドレン配管に向かって進む流れのところを阻害する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:49	ものがあつたとしても全体として実際に通流していく時の幅としては今想定している長さよりも長いのではないかというふうには考えております。以上です。
1:43:12	規制庁中根です。わかりませんあれですねちょっと落下点と、あと、
1:43:22	熱量幅との関係もあるのって。
1:43:24	構造物とかを、ちゃんと精査していただいた上で、水位経済がこれでいいかも。
1:43:32	等含めて、移り幅等、
1:43:37	あとす、越流水深ですね
1:43:39	輸入の効いてくるものっていうのを、
1:43:42	ちょっと保険例で、この記載を検討していただいてもよろしいですかね。
1:43:51	中国電力梶です。
1:43:54	了解いたしましてちょっとこちらを、
1:43:56	以上です。
1:44:29	議長吉崎です。
1:44:30	補足の、
1:44:34	25 ページ、26 ページでもいいんですけど。
1:44:38	コリウムシールドを設置する場合としない場合で1分の差があると書いてあんですけど、
1:44:46	結構これをする場合より市内以外の方が、した場合の方が1分遅くなるってことだと思うんですけど。
1:44:54	それは、ここの3、26の、
1:44:59	図でいうとどれになるんですかね。
1:45:07	中国電力河口です。
1:45:10	補足説明書の26ページの図になるんですが、先ほどあつたボリュウムシェフィールドの $\alpha$ 日本っていうのは、
1:45:17	こちら、図の液体分の方の、なるんですが、
1:45:21	こちら二つに分かれてコリウムシールドが設置した場合と設置しない場合とあります。
1:45:26	先ほど言った1分というのが、
1:45:29	堀mシールドスリット部入口からドレン配管入口のところ、括弧TP1-2っていうところが1分。
1:45:38	とあとホンザイかコリウムシールドスリット部入口が6分と。
1:45:42	こちら真木稲田君ということで、コリウムシールドを設置しない場合は、ホンザイからドレーン徘徊でうちだろうと。
1:45:48	なっていて、こちらの比較として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:52	コリウムシールド設置した場合、金田君。
1:45:54	関芝 6 分ということで、設置した場合が 1 分。
1:45:58	研修時間としては長く、
1:46:00	ということになっております。以上です。
1:46:04	市長の井関ですここの真ん中のSTPTの 2 のところですね、この添付 1-2 の算出過程を、
1:46:14	説明しております。
1:46:26	中国電力河口です。22 ページの、
1:46:30	bポツ、クリームシードスリット部から取れん入り口まで到達時間というふうな記載になるんですが、
1:46:36	こちらコリウムシールドスリット分について、
1:46:40	それからドレン配管入口までにつきましては、
1:46:43	松葉スキーム箇所があるんですが、
1:46:46	内山。
1:46:47	先ほど説明書がワーでまたドレン配管の移送時間で計算しているような、
1:46:53	で使っていますCD型の構築美観外宮他の経験式。
1:46:57	というのをを用いております。
1:46:59	で、その式が 23 ページの真ん中ほど式、こちら、先ほどの配管移送を、
1:47:06	時間の圏域と掲示時間と同じ式になっております。
1:47:09	こちらを用いまして、コリウムシールドスリット部。
1:47:13	IV倍と。
1:47:15	長さ。
1:47:17	と、あと拭き長さ等々使って、
1:47:21	パラメーターで入力することにより、
1:47:23	こちらの、
1:47:24	DPT-の時間を計算しております
1:47:29	以上です。
1:48:30	ページヨシザキです補足の 27 ページのところの、
1:48:36	ここのそのパラメーターを式に入れたら、
1:48:41	ATPの 1-2 が 1 というふうに、
1:48:44	で出るってこと。
1:48:46	ですかね。
1:48:50	中国電力は久慈です。ご指摘の通りでございます。
1:48:54	プレフィルターをすべて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:56	明確に書いてあって、計算すればなるということですね。わかりました。と称します。
1:51:01	規制庁の吉崎です。
1:51:03	先ほどの補足の 22 ページ、
1:51:07	コリウムシールドどう。
1:51:09	Bポツの真ん中辺から
1:51:13	保留虫のスリット部を流れる漏えい水の平均流速を、
1:51:18	JCレジの、
1:51:20	公式等玩具X、
1:51:22	丹下橋田の経験式で、
1:51:25	算出ってあるんですけど、これが、
1:51:28	この表、P27 ページの、
1:51:32	Cボスの、
1:51:35	表のVP1-2。
1:51:39	になるんですか。
1:51:43	給付電力カワグチです。ご認識の通りでございます。
1:51:48	規制庁の義崎ですそうするとコミュニティですっていう、高速計算によってあらゆる値ってのは、
1:51:54	これとさっきの、何だ、
1:51:57	経験式との関係では、
1:52:01	1 個イコールなんですか。
1:52:04	Gの方式と玩具、
1:52:10	それがコウソク計算になる。
1:52:19	収束計算。
1:52:23	中国電力河口です。
1:52:24	ご認識の通りでございます
1:52:28	以上です。
1:52:41	なるほど。
1:52:43	市長の吉井ですわかりました 23 ページの真ん中の公式に繋がって、それでってことですね。
1:52:50	とりあえずわかりました。
1:52:52	そうします。
1:53:00	規制庁中出すいませんちょっと戻って申し訳ないですけど、谷井委員、確認だけなんです。企画書の 4 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:11	原子力の基本方針の一番最初のところなんですけど、原子炉格納容器の炉に対しては、
1:53:18	機器ドレンサンプドレンサンプで
1:53:22	低角掃除凝縮水等放射性濃度D背を設置するって形でね。
1:53:28	一応特定できない原子炉格納容器等に対してはって書いてあってね、ここに木戸さんとか出てこないのは、左半分に入ってきた水ってのは、
1:53:37	市が特定できるからってことですよね。
1:53:43	中国電力川口です。今、個人認識の通りでございます。土肥委員。
1:53:49	ドライウェル機器ドレンシャンプーの方に、物は
1:53:52	漏えいが確認。
1:53:54	特定される。具体的に言うと、
1:54:01	本冷却材の漏えいや、あと、
1:54:03	原子炉冷却材系との経典及び再循環ポンプのメカシール等の漏えいとなります。以上です。
1:54:13	支店長永瀬はい承知してありがとうございます。
1:54:26	規制庁の石田です。僕ももう少し戻って確認なんですけど。
1:54:31	頭皮架空の6ページで、
1:54:34	先ほどもちょっと説明あったんですけど、6ページの漏えい監視装置の概略図で、
1:54:39	設備の相違で柏崎の十河大岩。
1:54:43	これはんな。
1:54:46	何が変わってるんでしょうか。
1:54:53	中国電力河口です。柏崎等の総意としましては、わかりやすいところで言うと、
1:54:59	松森で言うドライウェル冷却系大学の数が違う。
1:55:03	といったところ。
1:55:06	書きがあります。以上です。
1:55:28	次長の伊勢です。
1:55:30	数が違うってということで、
1:55:32	そそういうことですね、設備が違うって書いてあるので、
1:55:38	ウェブクルーの数、数量は違うことを指していると。
1:55:44	やっぱり東北電力カワグチです。
1:55:47	ご指摘の通りでございます
1:55:51	以上です。
1:56:29	規制庁中村です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:32	ちょっと飛んで申し上げますが、補足の 19 ページで、まずこれもちょっと私 がわからない。
1:56:37	確認なんですけど。
1:56:38	瓜生椎野、
1:56:42	飲酒とかね株の平面図のところ、
1:56:46	いわゆる広井さんと浦部がドレンサンプがあると思うんですけど。
1:56:52	これをシールドに落ちた漏えい水っていうのは、機器上SAPには河合設計に なっ
1:57:00	てるんです。
1:57:06	中国電力河口です。ご認識の通りでございます。
1:57:09	以上です。
1:57:14	中国電力の木本です。補足しますけれども 19 ページの図 9-1 の方を見てい ただければと思いますけれども、マスキングの範囲なのでちょっと詳細は、
1:57:27	ご説明できますけれども、スリット部、
1:57:30	というかドレンファンネルの関係と機器ドレンファンネルの関係というところで、 ここに床ドレンファンネルもドレンファンネルも直接、
1:57:41	漏えい水は行かないような感じになっておりましてスリット部を経由したものし か漏えい水は入ってこないというような構造に、
1:57:50	コリウムシールドしておりますので、正規ドレンの方には行かないというような 構造。
1:57:57	今日のやつを承知しましてありがとうございます。
1:59:06	規制庁中村です。それではちょっとこちらからの確認は以上となりますが、中 国電力の方から何かありますでしょうか。
1:59:20	中国電力加来です。こちらは特にございません。
1:59:23	以上です。
1:59:25	規制庁中間です。わかりました。それでは今日の指摘の確認をさせていただく と思いますのでよろしくお願いします。
2:00:08	中国電力河口です。今、
2:00:10	画面共有させていただいておりますが、こちら見えますでしょうか。
2:00:15	規制庁でございます。はい。大丈夫です。
2:00:22	中国電力の河島です。それでは、コメント内容について確認させていただきます す。まず 1 件目。
2:00:29	比較の 28 ページで、ドライウェル冷却器の上部 2 台が女子機能に寄与しない 旨を注記にて説明すること。
2:00:38	二つ目が、比較 4 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:41	ドライウェル内雰囲気放射性物質濃度測定装置が、
2:00:45	ドライウェル床ドレンサンプ水測定装置と同等の機能を有する基準の有無について説明すること。
2:00:51	三つ目が比較 4 ページで、類型化している。そういう理由について、詳細に説明すること。
2:00:58	四つ目が比較表 2 ページ。
2:01:00	①の整理について記載内容の適正化について検討すること。
2:01:05	五つ目が、比較表 16 ページ。
2:01:08	設計余裕の取り方の相違、規制について詳細に説明すること。
2:01:14	六つ目が比較表、16 ページ、34 ページ。
2:01:19	35 ページ。
2:01:20	こちら、対象となってまして計測誤差を考慮した、設定時の考え方について、備考に追記すること。
2:01:28	七つ目が、比較表 22 ページ。
2:01:32	水位変化率の計算方法の相違理由について、
2:01:35	詳細に説明すること。
2:01:38	八つ目が比較表、22 ページ。
2:01:41	ホンザイの一部が損傷、戻り、損傷することの、仮定の、
2:01:46	記載の必要性について検討すること。
2:01:49	九つ目が、比較表 23 ページ。
2:01:53	一般ホンザイからの漏えいに関わるホンザイへの吸収の影響に関する考え方について。
2:01:59	補足への記載を検討すること。
2:02:03	10 個目が、補足、14 ページと 15 ページ。
2:02:09	金属ホンザイからの漏えいと。
2:02:12	一般保温材からの漏えいを書き分けている理由を、を説明すること。
2:02:18	11 個目が、比較表、26 ページと 27 ページ。
2:02:22	検出時間について、勾配の有無を含めて評価方法が異なる理由を、詳細に説明すること。
2:02:29	12 個目が、比較表 23 ページ。
2:02:32	そういう理由について、詳細に説明すること。
2:02:35	13 個目が補足 13 ページ。
2:02:38	その係数を 0.01 としている理由の記載について。
2:02:42	記載内容を検討すること。
2:02:44	14 個目が、補足 16 ページと 17 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:48	SE形成範囲の考え方について、内部構造物の影響等を含めて説明すること。
2:02:54	以上となっております。
2:02:57	以上です。
2:03:00	規制庁の吉崎です。一見ちょっと、追加で確認なんすけど。
2:03:07	比較の 35 ページ。
2:03:10	これも説明あったところで、ちょっと確認を逃してしまったんですけど。
2:03:17	35 ページの真ん中の、
2:03:21	警報設定の範囲は、
2:03:23	外部床サンプの測定範囲の、
2:03:28	計測範囲によらずってあるんで、これはプロコン複雑計算キーで、
2:03:33	してるとかっていう、
2:03:35	説明があったんで少しスルーしてしまったんですけども、この由良図の理由を明確に備考の方を説明いただきたいと。
2:03:43	よろしいでしょうか。
2:03:48	中国電力河口です。
2:03:49	こちらちょっとトイレについてちょっと記載の詳細化を検討いたします。以上です。
2:03:57	規制庁吉崎ですよろしくをお願いします。
2:05:02	規制庁ナカムラさんの設計用の考え方のところをちょっと確認のためにさしていただいてよろしいですか。
2:06:55	規制庁仲田です通勤範囲の考え方なんですけど、
2:07:03	結果から南野式が、
2:07:10	どう影響してどう変わるかっていうところも、推計範囲の内部構造物等の検討に追加で、
2:07:18	言い方が結局、検討したら、その後三村式がもしわかるかもしれない。検討がされるとは思うんですけど、ちょっとそういう趣旨ですので、
2:07:28	考え、推計の考え方だけでなく、その結果の、
2:07:34	影響についても、富永式への影響とか百貨店がどう、
2:07:40	百貨店からの推計では、河端須藤も含めて、ということですので、
2:07:46	記載としてはこれでいいんですけどそこら辺はちょっと趣旨はそういうことなのでよろしくをお願いします。
2:07:55	中国電力河口です。了解いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:05	規制庁仲です。はいそれではこちらからは特にありませんので、中国電力の方から何か、何もなければ、これで終了したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。
2:08:19	はい。重力電力です。これ、問題ございません。
2:08:24	はい。それではヒアリング終了したいと思います。ありがとうございました。ありがとうございました。
2:08:31	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。